

令和8年度

# 運営に関する計画

令和8年4月

大阪市立阪南小学校

# 令和8年度 学校経営方針

大阪市立阪南小学校

## 学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

## めざす子ども像

よく考える子 心や体をきたえる子 考えを実行にうつす子

## 目指す学校の姿

「五方良し」(児童、保護者、地域、教職員、未来社会)

- 児童が「通いたい」と思う学校
- 保護者が「通わせたい」と思う学校
- 地域の方に「協力したい」と思ってもらえる学校
- 教職員が働きやすい学校
- よりよい未来を創る学校

## 目指す教育【学校経営の重点】

「授業を通して、自ら学び、自ら運動に親しむ児童を育てる」

## 具体化への手立て

### ○安全・安心な教育の推進

- ・気持ちの良いあいさつの飛び交う学校 ・廊下の右側歩行が守られる学校
- ・憧れ憧れられる関係づくり
- ・高学年の活躍の場を増やす(2年生が1年生に、代表委員がみんなの前で)
- ・各教科における異学年交流の積極的推進、縦割り清掃等縦割り活動の充実
- ・支援が必要な児童に全教職員が積極的に関わる
- ・週最低1時間(年間35時間以上)は支援担当と担任が役割を交代する【担任が特別支援にあたる】
- ・全員に居場所がある学級経営、認め合える集団の育成
- ・いじめ、問題行動は未然防止と初期対応がすべて。迅速な報告に基づき組織的に対応する  
→ハイパーQUの年2回実施(3年生以上) →丁寧な事実確認と公平な指導
- ・情報モラル教育、メディアリテラシー教育のさらなる充実

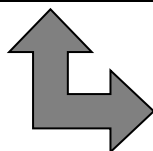
### ○未来を切り拓く学力・体力の向上

- ・わかる喜び、できる喜びを感じられる授業 ・考える楽しさを感じられる授業
- ・教科横断的な学び、探究的な学びの充実(総合WGによるさらなる研究)
- ・自主学習の励行(自主学習推進WGの立ち上げ)
- ・授業後に、自分で調べてみたくなるような授業における仕掛けの工夫
- ・学習成果(自主学習)(作品展)(学習発表会)の発表の場の工夫、充実
- ・本物との出会い、実体験の重視(校外学習、ゲストティーチャーの工夫)
- ・体育学習における「できた」の積み重ねによる運動に対する意欲の向上
- ・体力、運動能力を高める学校挙げての重点的な取組み ・休み時間の確保(外遊びの奨励)

### ○学びを支える教育環境の充実

- ・教室の整理整頓 ・ゴミ、ほこりの落ちていない学校
- ・自作作成教材(ワークシート等)に係る負担の軽減(データベースWG)の立ち上げ
- ・気兼ねなく定刻で帰ることができる学校
- ・教職員が安心して働くことができる学校

## 子どもたちのために



教職員がお互いをリスペクトし合う職場にしましょう

- ・人間関係のストレスのない職場にしましょう。感情的な言動厳禁。
- ・教職員同士もやさしさの伝わる言葉遣いを心がけましょう。

大阪市立 (学校園名) 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- 学級や学年のみんなで力を合わせつくりあげる体験や高学年の児童が低学年の児童の前で発表する機会が少ないため、学習やその成果を発表の場を工夫し、一人ひとりの自尊感情を高め互いに認め、支え、高め合う関係づくりを進める。
- いじめへの認識を深め、いじめの未然防止・早期発見の取り組みを進めることで、「いじめ(暴力をふくむ)は何かあってもしない」という意識を高めることができた。しかし、意識は高まっても、行動に十分に結びついていない場合がある。今後は、教職員による日常的な児童の見取りや対話をさらに充実させていじめの未然防止と早期発見に努めていく。  
また、これまで全校で取り組んできた「よいところさがし」により、児童が自他のよさに気づき、言葉で伝える姿が多く見られる。児童一人ひとりが自分をかけがえない存在であることに気づける取り組みを今後も継続して取り組む必要がある。
- 不登校または不登校傾向な児童について実態把握を行い、教職員間で情報を共有しながら、スクールカウンセラーや子どもサポートネット等の連携しなら支援を行ってきた。家庭との連絡も定期的に取り合い、可能な限り児童に合わせて登校しやすい状況を整えるために繋がりを築き、全児童の居場所がある学校運営を目指していく。
- 学習者用端末で日々、心の天気を活用して児童理解や信条把握に努めるとともに学習者用端末の使用を進めてきた。今後は、端末の適切な使用方法や情報モラルの指導を一層充実させるとともに、情報リテラシーの育成にも取り組みを進めていく。
- これまでの学力向上の取り組みにおいて、基礎・基本的な知識・技能の定着が図られてきている。今後は、わかる喜び、できる喜び感じられる授業を通して、「考える楽しさを感じられる授業」を目指して、友だちと共に対話しながら学ぶ楽しさを感じられる授業実践に取り組んでいく。
- 日本語での理解がむずかしい児童に対して、日本語指導や学級での指導を中心に取り組みを進めてきた。学習において視覚的な支援ややさしい日本語による説明を充実させ、すべての児童が安心して学習に取り組めるよう、指導方法や学習環境のさらなる工夫・改善を図る。
- 休憩時間の運動場の使用時間を学年でローテーションを組み、安全に配慮して場を設定し、使用できる用具・器具を整備し、児童の運動する機会を確保するよう継続して環境や時間を整える。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88.0%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.0%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90.0%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80.0%以上にする。
- 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 80.0%以上にする。

※基準 1 次のア及びイの基準を満たすこと

ア 1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないようにすること

イ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにすること

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.7%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87.3%以上にする。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 82%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 73%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 76%以上にする。

※基準 1 次のア及びイの基準を満たすこと

ア 1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えないようにすること

イ 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えないようにすること

## 3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立阪南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85.7%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.3%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>様々な場面で全員に活躍できるような場を工夫する。お互い認め合える集団の育成を進めていく。(異学年交流の積極的推進、縦割り活動の充実)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学期に1回以上、異学年交流の場を設定し、令和8年度の児童アンケート「異学年交流は楽しいですか。」の項目において、後期の肯定的回答の割合が前期を維持または増加させる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>様々な場面で友だちや自分の「よいところさがし」を行うとともに、優しさが伝わる言葉遣いをすることで、学級・学年等の仲間づくりを進めていく。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>児童アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」「友だちの気持ちを考えて優しい声かけができていますか。」の項目について、「あてはまる(どちらかといえばあてはまる)」と答える児童の割合を86.8%以上に維持する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立阪南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を73%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>算数科を中心に児童同士の話し合い活動を通して、考えを深める学習を充実させることで、理解の質を高め、基本的・基礎的な知識や技能の確実な定着を図る。</p> <p>指標</p> <p>小学校学力経年調査の平均正答率が70%以下の児童の総数の割合を、同一母集団において経年的に比較し、前年度維持または0.1%減少させる。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>児童が運動に親しむ機会や場の工夫に取り組むことで、運動に関する意識の向上を図る。</p> <p>指標</p> <p>令和8年度の児童アンケートにおける「運動や体を動かすことが好きだ」「休み時間は外で遊んでいる（遊ぼうと思っている）」の項目について、肯定的に答える児童の割合を前年度後期と同じ割合を維持させる。（前年度実績後期 92.2% 84.1%）</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立阪南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【学びを支える教育環境の充実】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。</p> <p>○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を76%以上にする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※基準1 次のア及びイの基準を満たすこと</p> <p>ア 1か月の時間外勤務時間が45時間を超えないようにすること</p> <p>イ 1年間の時間外勤務時間が360時間を超えないようにすること</p> </div>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>情報モラルの年間指導計画を作成し、系統的な指導を行うことで、児童が自他の人権を尊重する姿勢を身に付け情報を適切に収集・判断・発信する力を育成する。</p> <p>指標</p> <p>情報モラルの年間指導計画に基づき、前期・後期にそれぞれ3回以上は実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>会議の持ち方（回数、方法、内容）を工夫すること、年間授業時数の適正化を図り、週配当時間の見直しを行うことで放課後の時間の確保に努める。通知表の所見欄の内容や指導要録の表現を見直すことなどさらなる業務の精選に取り組むとともに校務分掌の細分化や分担方法の工夫を図り働き方改革を推進していく。</p> <p>指標</p> <p>定時退勤日は18時まで退勤する人を職員全体の90%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
今後の改善点	